

道路事業関係

■有明海沿岸道路（大牟田～大川）は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する地域高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。

■有明海沿岸道路（大牟田～大川）が整備されることで、沿線地域への、九州縦貫自動車道、九州新幹線等へのアクセス性向上による企業等の進出や、三池港における国際コンテナ貨物量の大幅増加に寄与。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：福岡県大牟田市新港町～
福岡県大川市新港町

延長：27.5km
 全体事業費：2,555億円
 R2当初：16.7億円

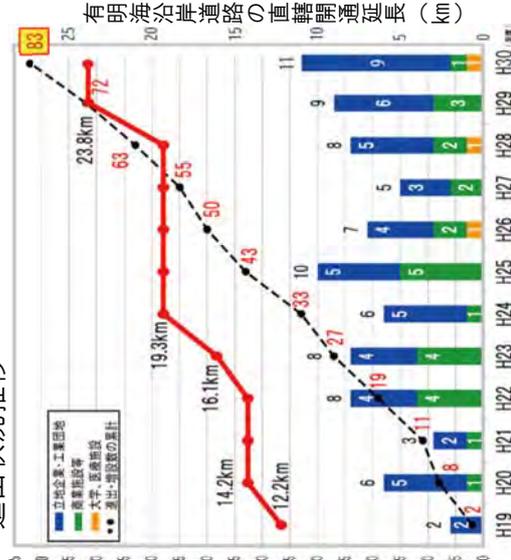
《整備効果》

■三池港国際コンテナ貨物量の推移



出典：福岡県提供資料

■有明海沿岸道路沿線地域の企業等の進出状況推移



《路線位置図》



有明海沿岸道路の開通(H20)年以降に立地(進出)・増設した企業等

立地企業・工業団地	(54)
商業施設等	(26)
大学、医療施設	(3)
合計	83

[平成31年4月時点]

《健老IC付近の工業団地の立地状況》



国道208号 大川佐賀道路【直轄】

継続

道路-2

おおかわさが

みいけ

ありあけ かいえんがん

■大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する地域高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を構成する道路。

■大川佐賀道路が整備されることで、九州佐賀国際空港から観光拠点へのアクセス性が向上するとともに、観光拠点間の結びつきも強化され、更なる観光客数の増加が期待。

《位置図》

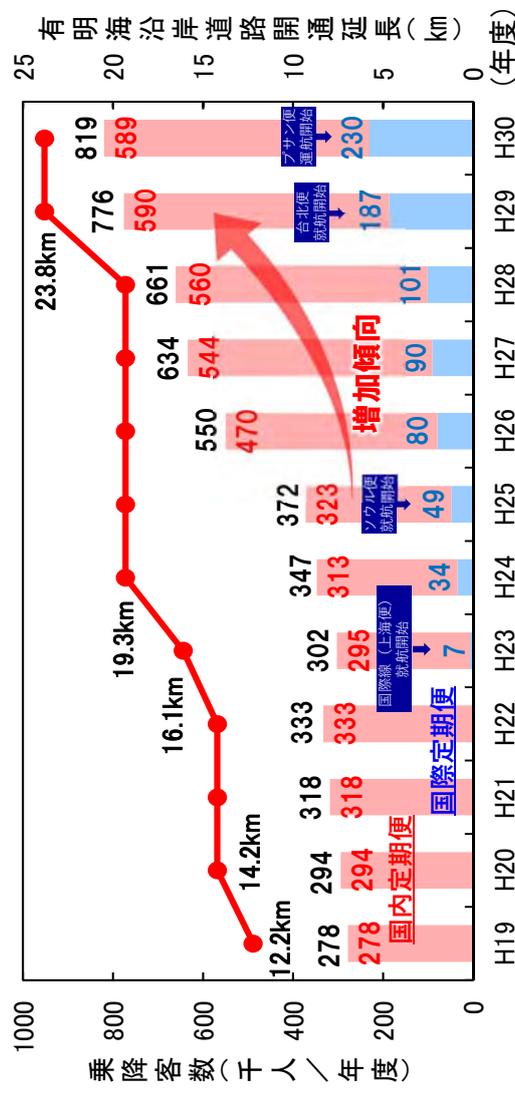


事業区間：福岡県大川市大野島～佐賀県佐賀市嘉瀬町
 延長：9.0km
 全体事業費：898億円
 R2当初：72.8億円

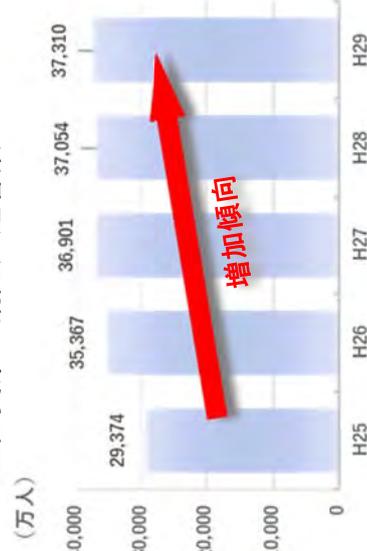
《諸元等》

《整備効果》

■九州佐賀国際空港の乗降客数

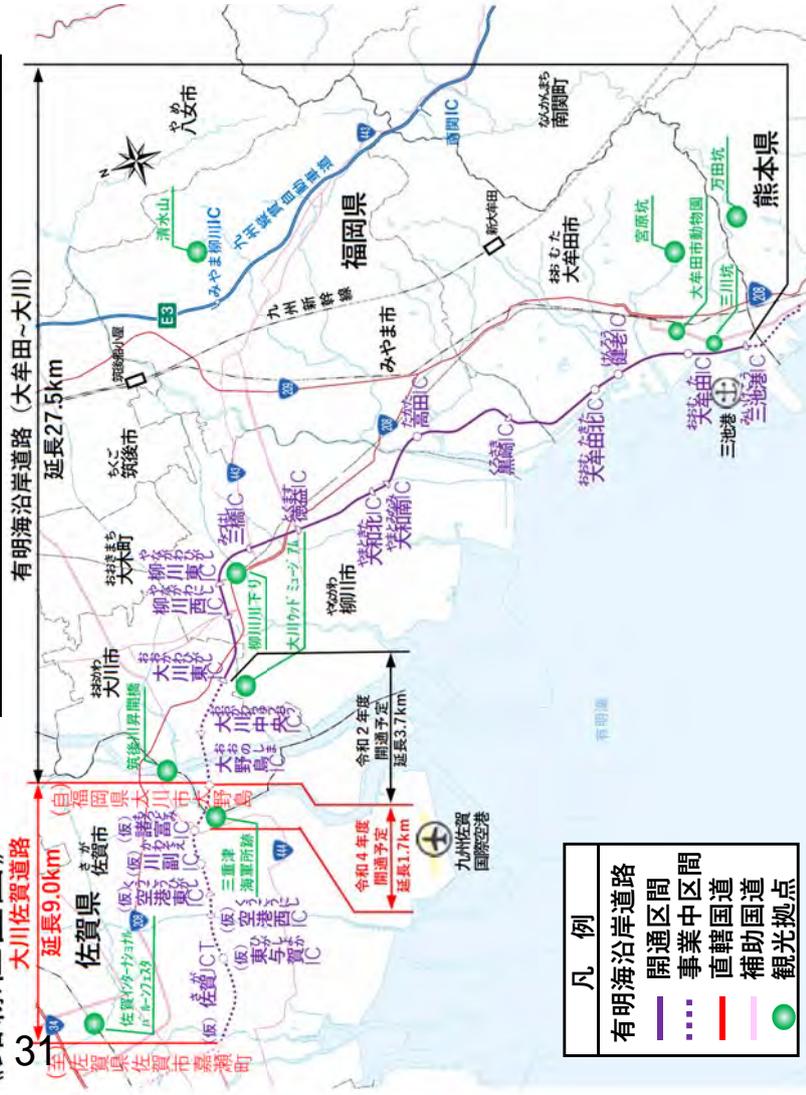


■佐賀県の観光入込客数



資料：平成29年佐賀県観光客動態調査

《路線位置図》



- 凡例
- 有明海沿岸道路
 - 開通区間
 - 事業中区間
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 観光拠点

九州佐賀国際空港



国道497号 松浦佐々道路【直轄】

■松浦佐々道路は、福岡県福岡市から長崎県を通過し、武雄市に至る高規格幹線道路「西九州自動車道」の一部を構成し、九州北西部地域の企業立地、観光、物流、住民生活に寄与する道路。

■企業立地においては、開通区間沿線で道路整備を見込んだ企業立地が進んでおり、平戸市にも新たな工業団地が造成。松浦佐々道路の整備により、周辺市町へのアクセスが向上することで、新たな企業立地や雇用の創出など、地域産業の活性化を支援。

《位置図》



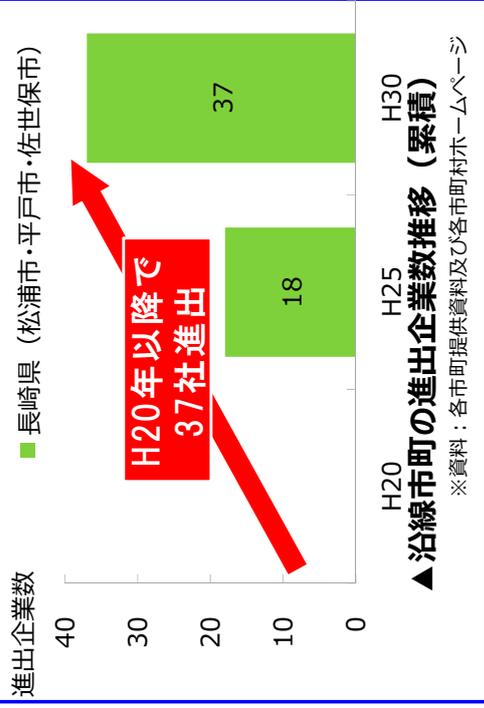
《諸元等》

事業区間：長崎県松浦市志佐町
 ～北松浦郡佐々町沖田免

延長：19.1km
 全体事業費：907億円
 R2当初：80.0億円

《整備効果》

◆増加する企業進出数



①平戸市工業団地
 H31分譲開始



②松浦市堂山地区工業団地
 H30分譲開始



《路線位置図》



国道251号 有明瑞穂バイパス【補助】

新規

道路-5

- 有明瑞穂バイパスは、九州横断自動車道と島原半島を結ぶ地域高規格道路「島原道路」の一部を構成し、交流人口の拡大や物流の効率化に加え、緊急医療体制の強化を目的とする道路。
- 有明瑞穂バイパスの整備に伴い、長崎県内の主要農業地域である島原半島からの農産品の輸送時間短縮が図られ、出荷拡大等による農業の活性化が期待されるとともに、世界文化遺産『原城跡』や温泉資源を軸とした観光施策を支援。

《位置図》

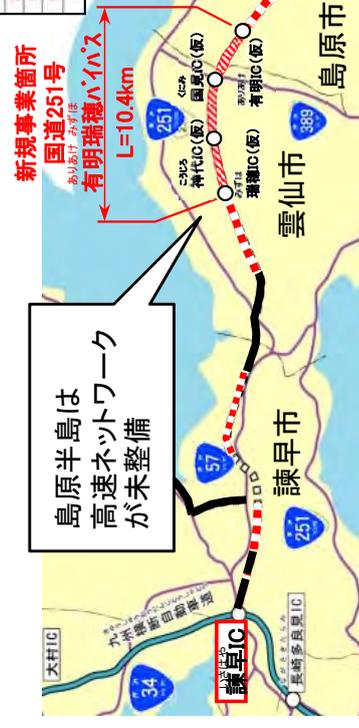


事業区間：長崎県島原市有明町
～雲仙市瑞穂町

延長：10.4 km
全体事業費：380億円
R2当初：0.4億円

《諸元等》

《当該区間での課題と効果》

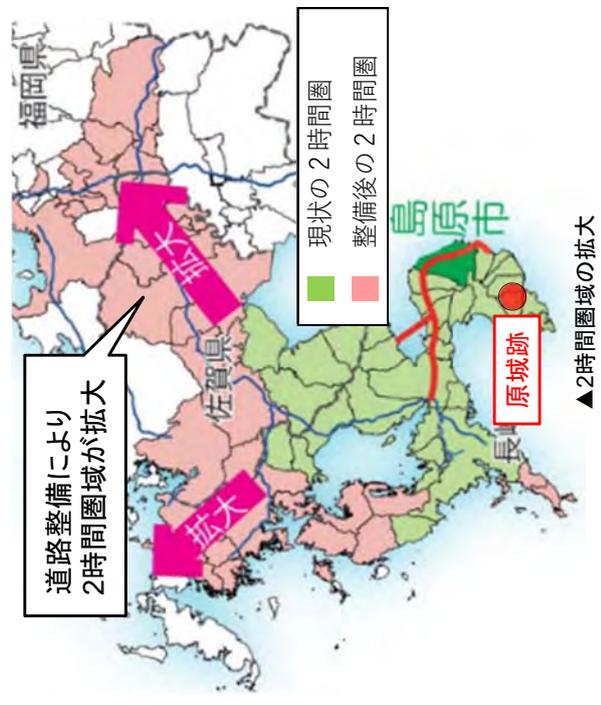


▲地域別観光入込客数の推移



▲H29長崎県農業産出額内訳
資料：農業産出額統計

道路整備により2時間圏域が拡大



▲原城跡(世界文化遺産)

▲2時間圏域の拡大

国道57号 大津熊本道路(合志～熊本)【直轄】

新規 道路-6

■大津熊本道路(合志～熊本)は、大分県大分市と熊本県熊本市を結ぶ地域高規格道路「中九州横断道路」の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■大津熊本道路(合志～熊本)の整備により、九州縦貫自動車道へのアクセスの向上を図り、物流の効率化による地域産業の活性化や災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築することによる防災機能の強化、広域交通アクセスの強化による主要観光都市間の観光振興の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

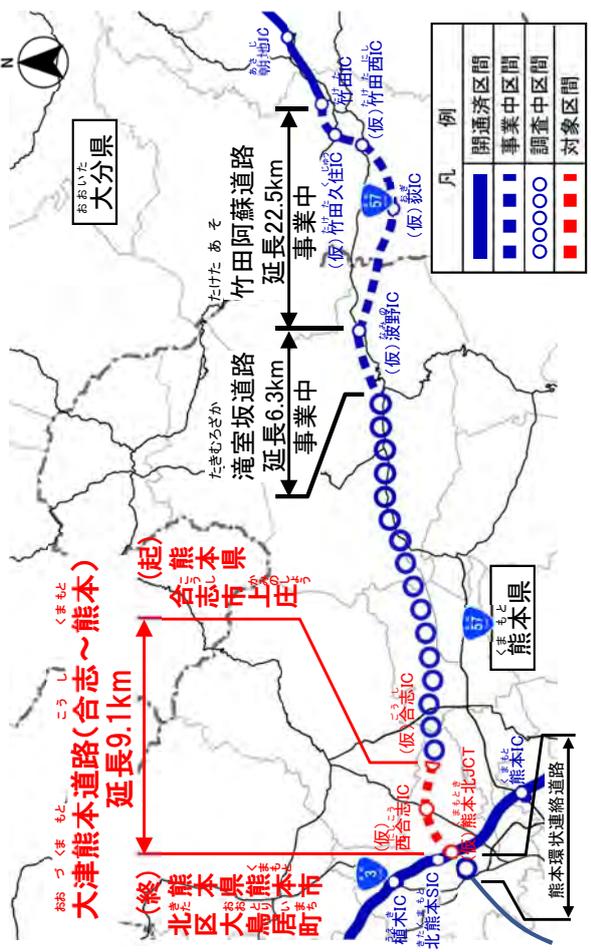
事業区間：熊本県合志市上庄～熊本県熊本市北区大鳥居町

延長：9.1 km

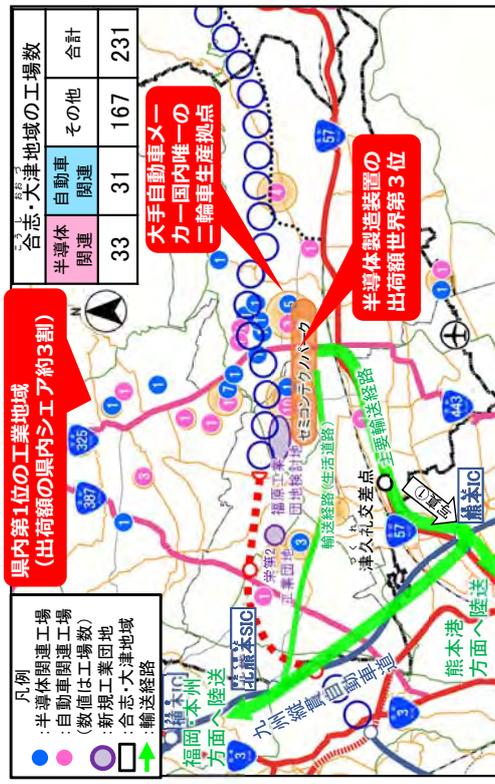
全体事業費：530億円

R2当初：0.5億円

《路線位置図》



《当該区間の課題と効果》



▲国道57号の渋滞状況

工業団地⇨九州縦貫自動車道
 現況:26分(熊本SIC)
 ⇒整備後:17分(9分短縮)(熊本北JCT)
 現況:22分(熊本IC)
 ⇒整備後:17分(5分短縮)(熊本北JCT)

▲合志・大津地域の立地企業位置



▲国道57号の渋滞に遭遇する自衛隊 (H28.4熊本地震時)

▲沿線地域周辺の観光

国道218号 蘇陽五ヶ瀬道路【直轄】

新規 道路-7

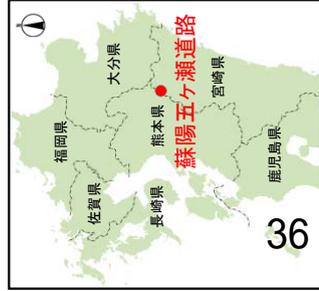
そようごかせ かみましき みふねまち のべおか

■蘇陽五ヶ瀬道路は、熊本県上益城郡御船町から宮崎県延岡市に至る高規格幹線道路「九州横断自動車道延岡線」の

一部を構成し、防災機能の向上や観光地間の連携強化等に寄与する道路。

■蘇陽五ヶ瀬道路の整備により、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成や、走行性・安全性の向上及び移動時間の短縮により産業活動や観光活動の振興の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

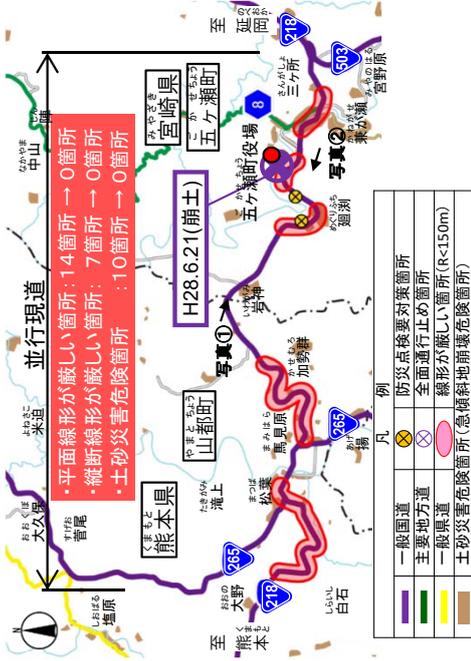
事業区間：熊本県上益城郡山都町塩原～
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所

延長：7.9 km

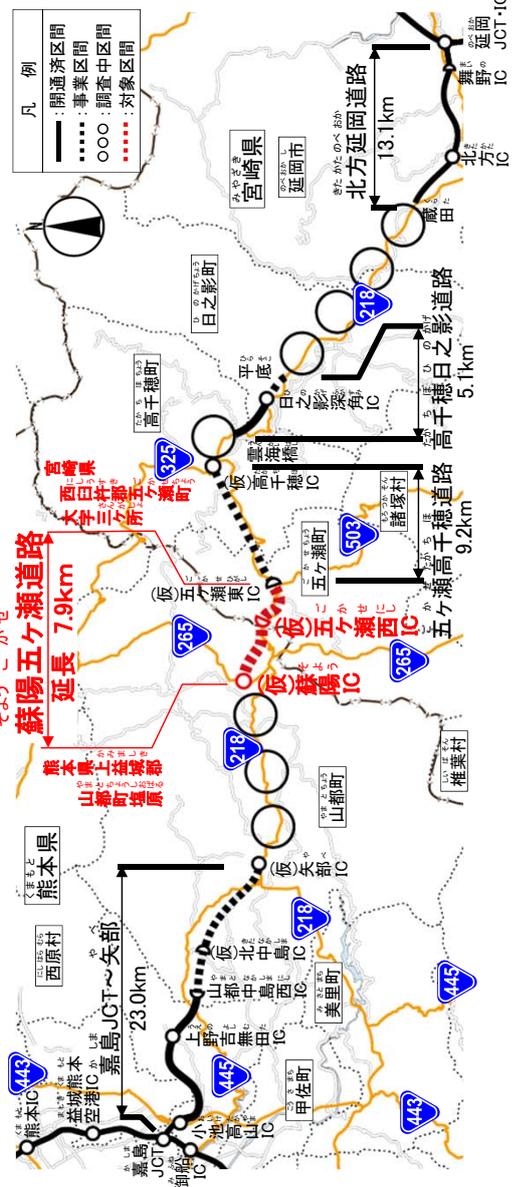
全体事業費：320億円

R2当初：0.5億円

《当該区間の課題と効果》



《路線位置図》

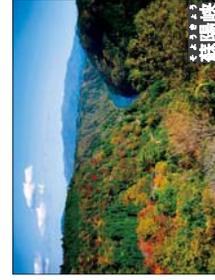
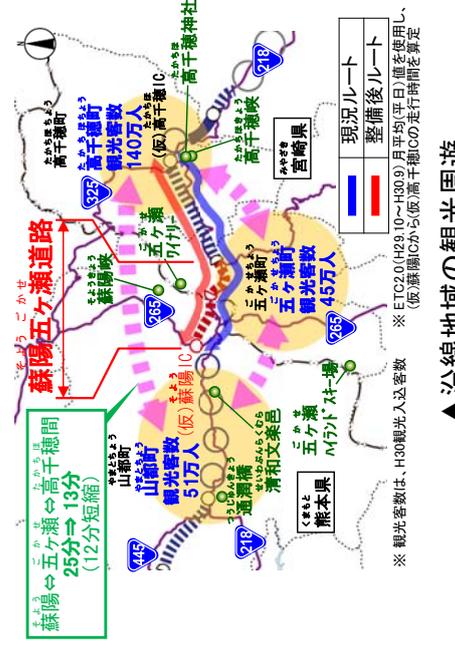


▲冬の積雪凍結状況 (国道218号 特産センター五ヶ瀬付近)



▲崩土による通行止め状況 (H28.6.21) (国道218号 五ヶ瀬町役場前)

▲国道218号の現道状況と被災状況



※ 阿蘇くじゆ観光圏及び 五ヶ瀬ハイクラススキー場 ※ ごかせ観光協会HPより

▲沿線地域の観光周遊

国道3号 芦北出水道路【直轄】

■ 芦北出水道路は、熊本県八代市から鹿児島県鹿兒島市に至る高規格幹線道路「南九州西回り自動車道」の一部を構成し、九州南西部の地域経済活性化及び高速定時性の確保を目的とする道路。

■ 芦北出水道路の整備により広域ネットワークを形成し、走行時間の短縮や定時性の確保に寄与。地域のアンテナショップとしての機能を有する道の駅「みなまた」の来訪者数は芦北出水道路の整備とともに増加しており、周辺観光施設への波及に期待。

《位置図》



事業区間：熊本県葦北郡芦北町花岡
～鹿児島県出水市下知識町

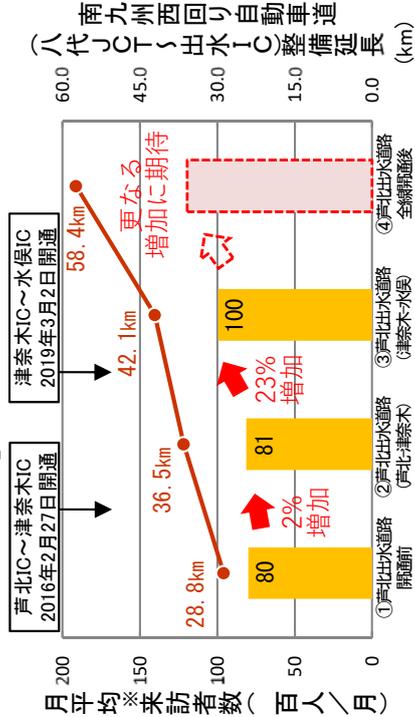
延長：29.6km
全体事業費：1,665億円
R2当初：97.0億円

《諸元等》

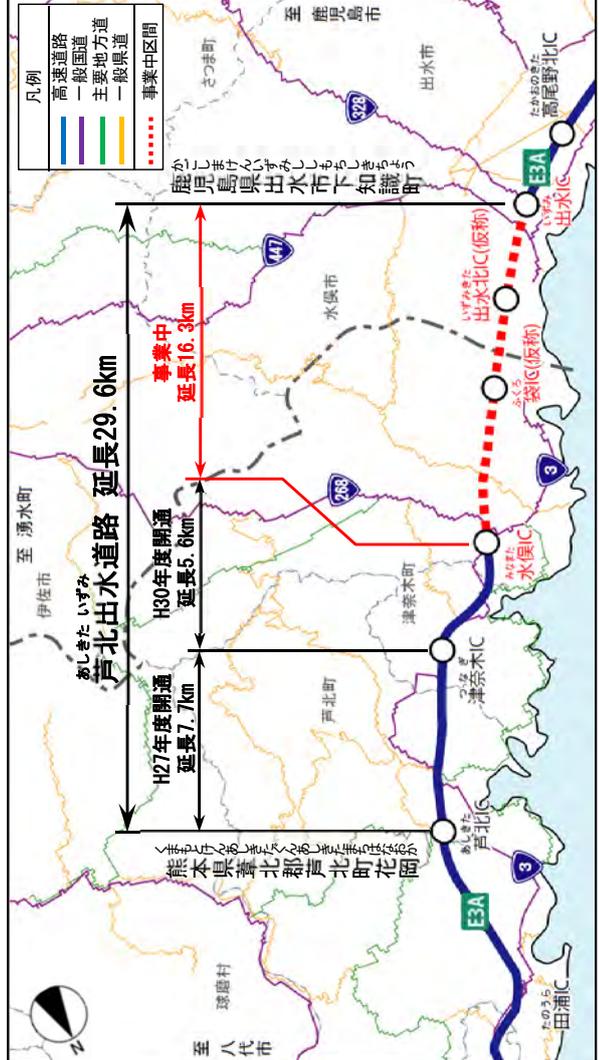
《整備効果》



道の駅「みなまた」の来訪者数



《平面図》



道の駅「みなまた」

資料：道の駅「みなまた」提供

ローズフェスタ (2019年4月29日～5月26日)

国道57号 竹田阿蘇道路【直轄】

継続

道路-9

くまもと

■竹田阿蘇道路は、大分県大分市と熊本県熊本市を結ぶ地域高規格道路「中九州横断道路」の一部を構成し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。

■竹田阿蘇道路の整備により、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成による防災機能の強化や、安定した物流ルートへの形成による地域産業活動の支援や救急医療施設へのアクセス向上による地域医療活動の支援に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：大分県竹田市大字会々あいのあいの～熊本県阿蘇市波野大字小地野

延長：22.5 km

全体事業費：688億円

R2当初：6.1億円

《当該区間の課題と効果》

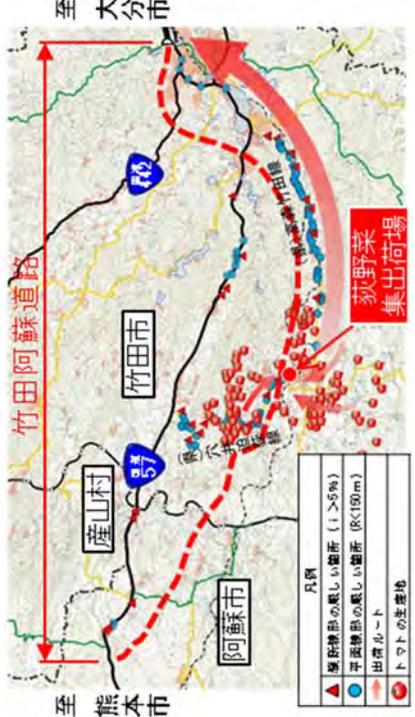
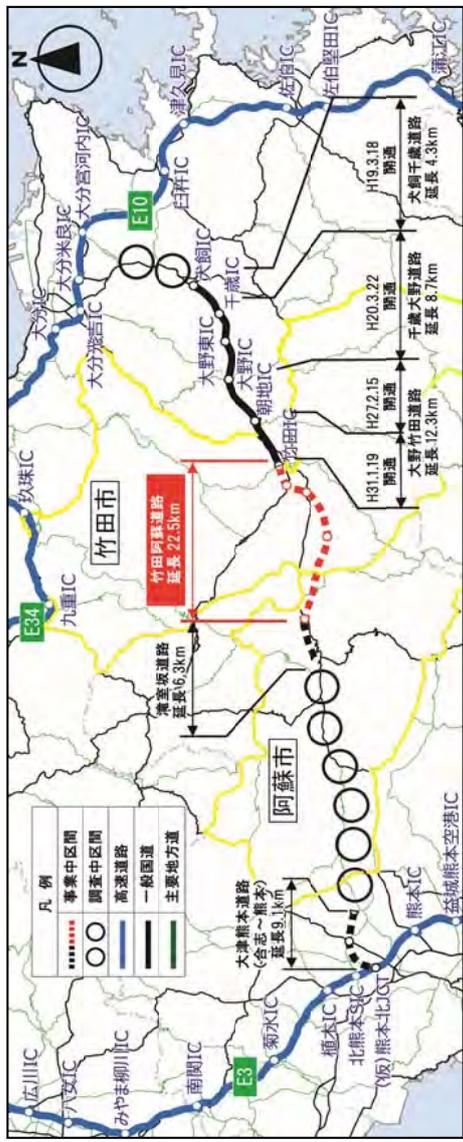


▲国道57号の通行止め状況と広域防災拠点



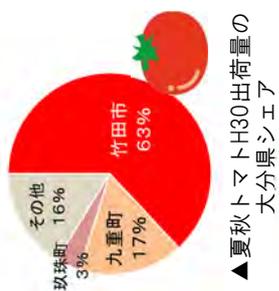
▲第3次救急医療施設への60分圏域

《路線位置図》



▲トマトの生産地・出荷ルートと線形不良箇所

▲H24.7九州北部豪雨の被災状況



■宇土道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を構成し、宇土半島に存在する特殊通行規制区間に對する代替機能確保等を目的とする道路。

■宇土道路の整備により、災害時でも救援・物資輸送機能を果たす代替路の確保による防災機能の強化や、天草地域の豊富な水産資源等の輸送時間短縮による地域産業の活性化に期待。

《位置図》



事業区間：熊本県宇土市城塚町
～宇土市上網田町

延長：6.7km
全体事業費：257億円
R2当初：11.4億円

《諸元等》

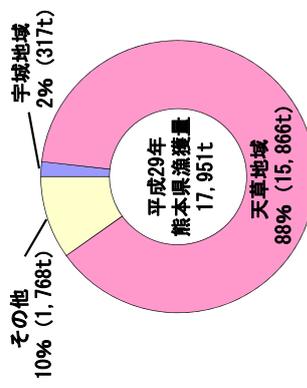
《当該区間の課題と効果》



▲国道57号の特殊通行規制区間の状況

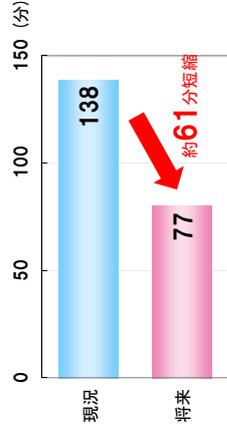


▲写真 被災状況(H11:台風18号)



▲漁獲量の熊本県内シェア

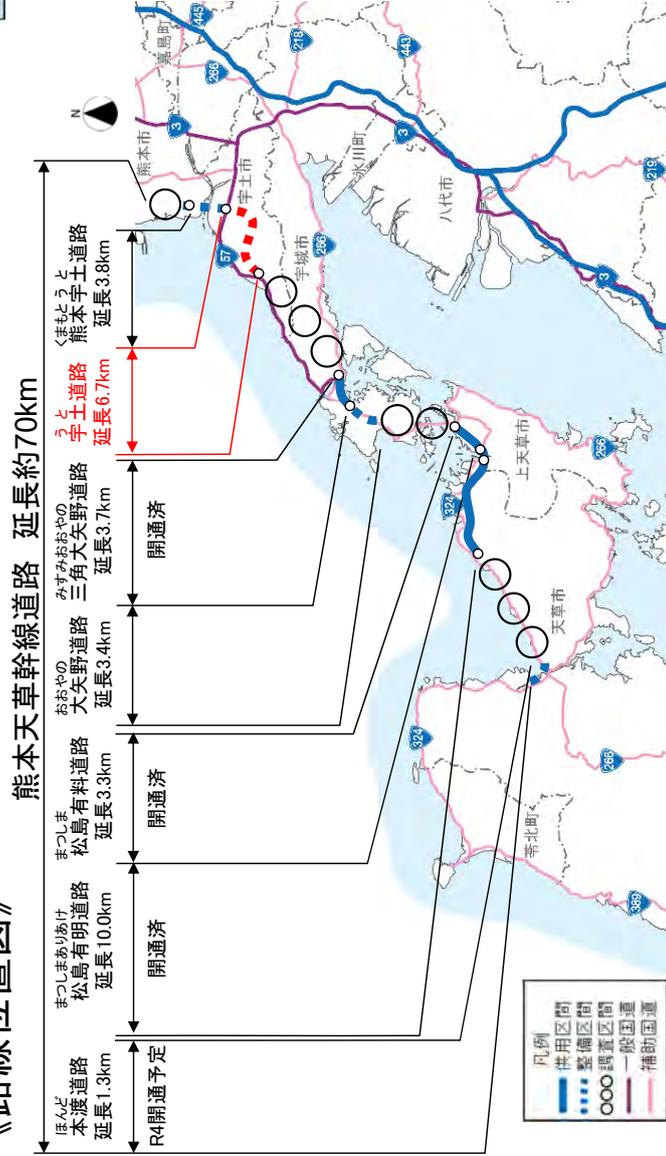
資料：海面漁業生産統計調査(H29)



▲熊本天草幹線道路整備後の時間短縮効果
(天草漁業協同組合～植木IC)

資料：H27全国道路・街路交通情勢調査

《路線位置図》



▲天草漁業協同組合から植木ICまでのルート

国道324号 本渡道路【補助】

継続 道路-11

■本渡道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の一部を構成し、天草瀬戸大橋の前後区間の交通渋滞緩和と交通安全の確保を目的とする道路。
■本渡道路の整備により、熊本県内の漁獲量の約9割を占める天草地域の豊富な水産資源等の輸送時間の短縮、定時性の向上が図られるとともに、鮮度維持等による市場拡大が期待。

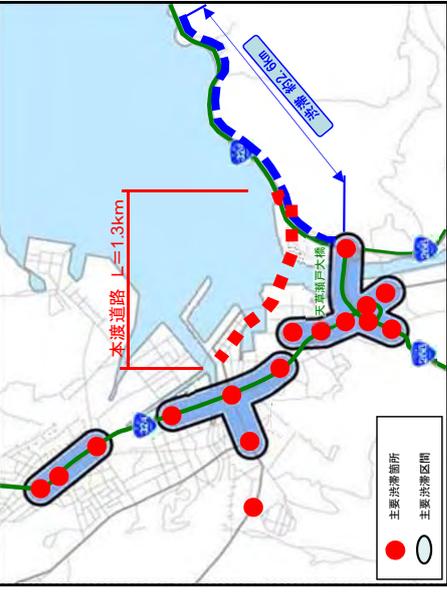
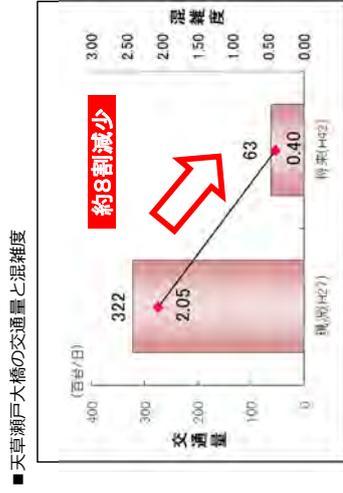
《位置図》



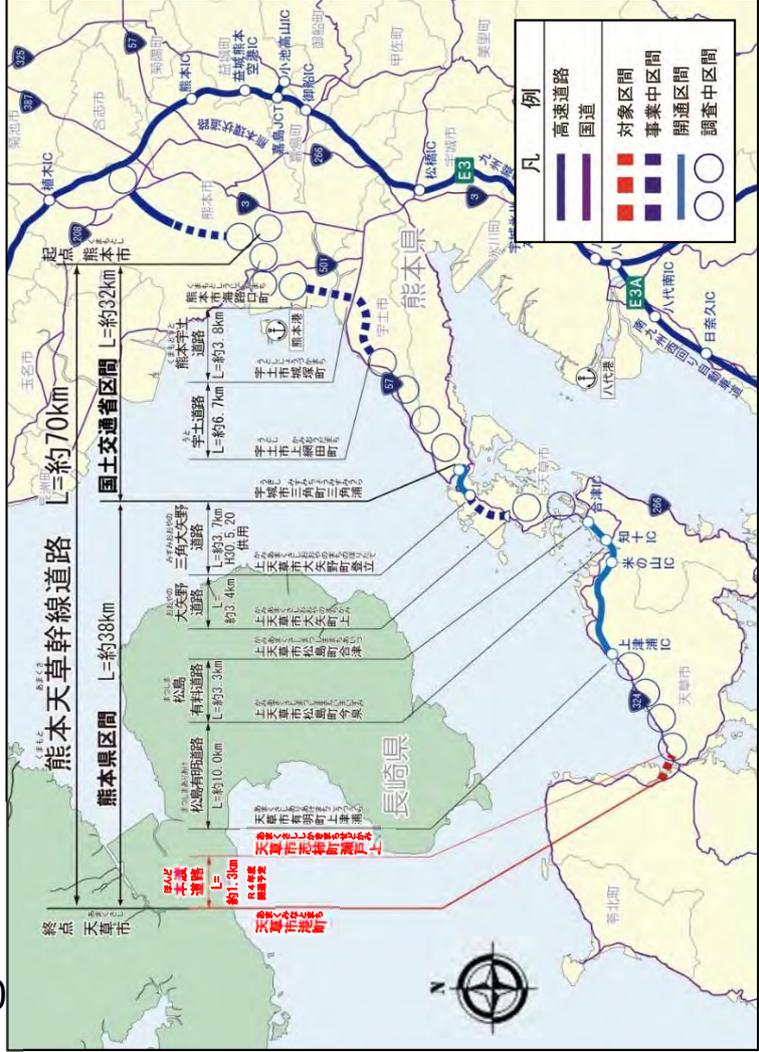
《諸元等》

事業区間：熊本県天草市港町～天草市志柿町瀬戸上
 延長：1.3km
 全体事業費：196億円
 R2当初：51.4億円

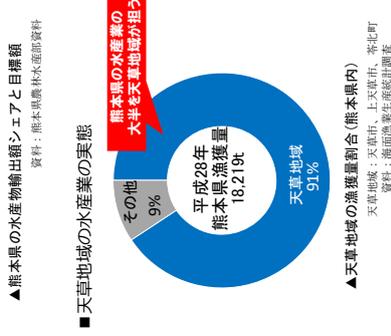
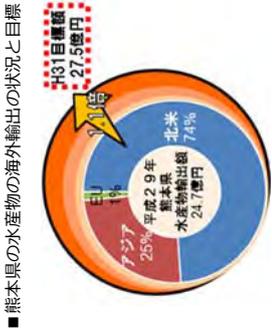
《交通渋滞の緩和》



《踏線位置図》



《物流の支援》



※ IP07全国道路・街路交通情勢調査を用いて算出
 天草地域：天草市、上天草市、赤松町
 天草天草幹線道路は旅行速度60km/h、大矢野道路は70km/hに設定
 資料：海面漁業生産統計調査

国道212号 耶馬溪道路【補助】

全線開通

道路-12

■ 耶馬溪道路は、重要港湾中津港から日田市に至る地域高規格道路「中津日田道路」の一部を構成し、大分県北西部に集積する自動車関連産業などにおける物流の効率化及び中津・日田間の広域観光の振興を支援する道路。

■ 耶馬溪道路の整備により、自然災害に対して脆弱な国道212号の代替路（リダンダンシー）を確保するとともに、名勝耶馬溪の青の洞門、羅漢寺、深耶馬溪（一目八景）など、観光地へのアクセス向上に寄与することに期待。

《位置図》

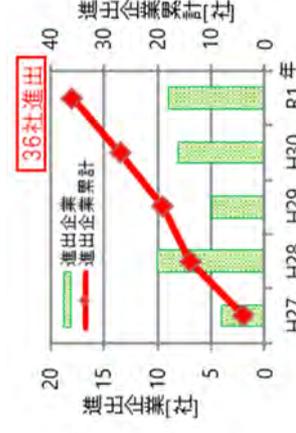


事業区間：大分県中津市耶馬溪町大字山移
～中津市耶馬溪町大字大島

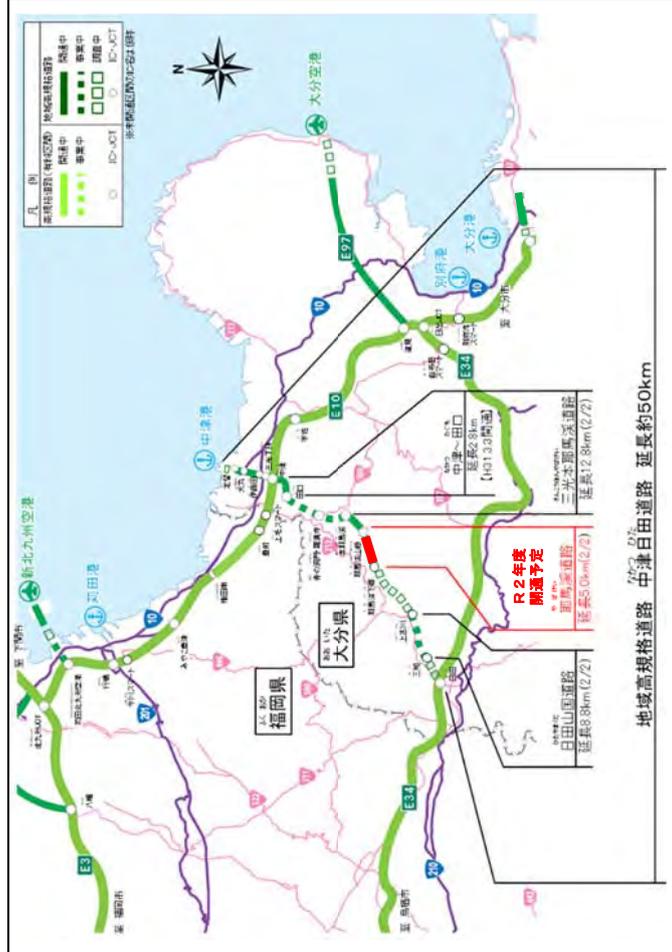
延長：5.0km
全体事業費：222億円
R2当初：19.7億円

《諸元等》

《当該区間での課題と効果》



《路線位置図》



国道220号 日南防災(南区間・宮浦～鵜戸)【直轄】

新規

道路-13

- 国道220号日南防災(南区間・宮浦～鵜戸)は、降雨等による異常気象時通行規制や土砂災害時の通行止めが発生する沿線集落の孤立や迂回の解消を目的とする道路。
- 国道220号日南防災(南区間・宮浦～鵜戸)の整備により、災害時の救急活動等において機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成。

《位置図》



宮崎県

国道220号日南防災
(南区間・宮浦～鵜戸)

《諸元等》

事業区間：宮崎県日南市大字宮浦字鳥越
～宮崎県日南市大字宮浦字松ヶ迫

延長：1.7km
 全体事業費：80億円
 R2当初：0.5億円

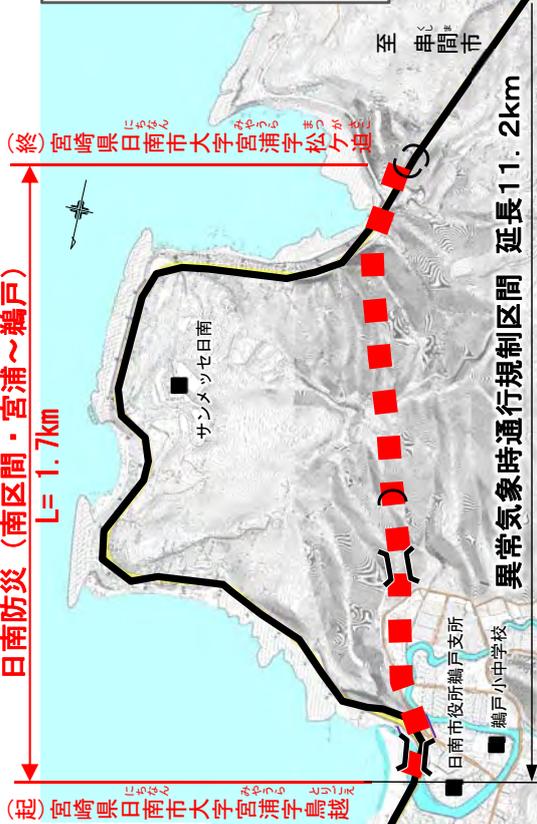
《当該区間の課題》

- 発生日時：不明(平成29年10月29日6時50分頃確認)
- 場所：国道220号日南市志戸辻
- 被災状況：延長約100m、高さ約80m



《路線位置図》

凡例
国道(直轄)
対象区間
橋梁構造
トンネル構造

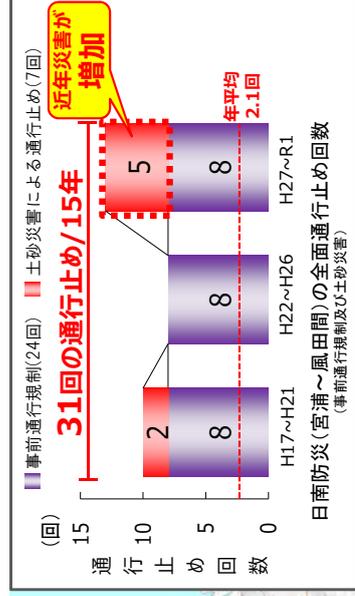


日南防災(南区間・宮浦～鵜戸)
L=1.7km

宮崎県日南市大字宮浦字松ヶ迫

宮崎県日南市大字宮浦字鳥越

▲宮浦災害(H29.10)



通常ルート約2倍の時間を要する

▲災害時の迂回経路(医療)

東九州自動車道 清武JCT～北郷【直轄】

継続 道路-14

■ 東九州自動車道 清武JCT～北郷は、九州における循環型高速道路ネットワークの一部を形成し、九州東部の広域的な連携を図り、物流の効率化及び地域の発展、災害に強いネットワークの構築等を目的とした道路。

■ 異常気象時の事前通行規制や災害時の通行止めにおける代替機能の確保等、救援・物資輸送機能を果たす災害に強いネットワークの構築等に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：宮崎県宮崎市清武町今泉～日南市北郷町郷之原
 延長：19.0km
 全体事業費：1,622億円
 R2当初：54.4億円

《整備効果》

▼ 国道220号の規制発生状況

規制理由	規制回数	備考
災害による通行規制 (全面通行止め)	14回	崩土崩壊、落石等
事前通行規制 (全面通行止め)	53回	連続雨量170mm以上
合計	67回	年平均 約4回/年

※通行規制はH16～H30の15年間の実績 (資料：宮崎河川国道事務所)

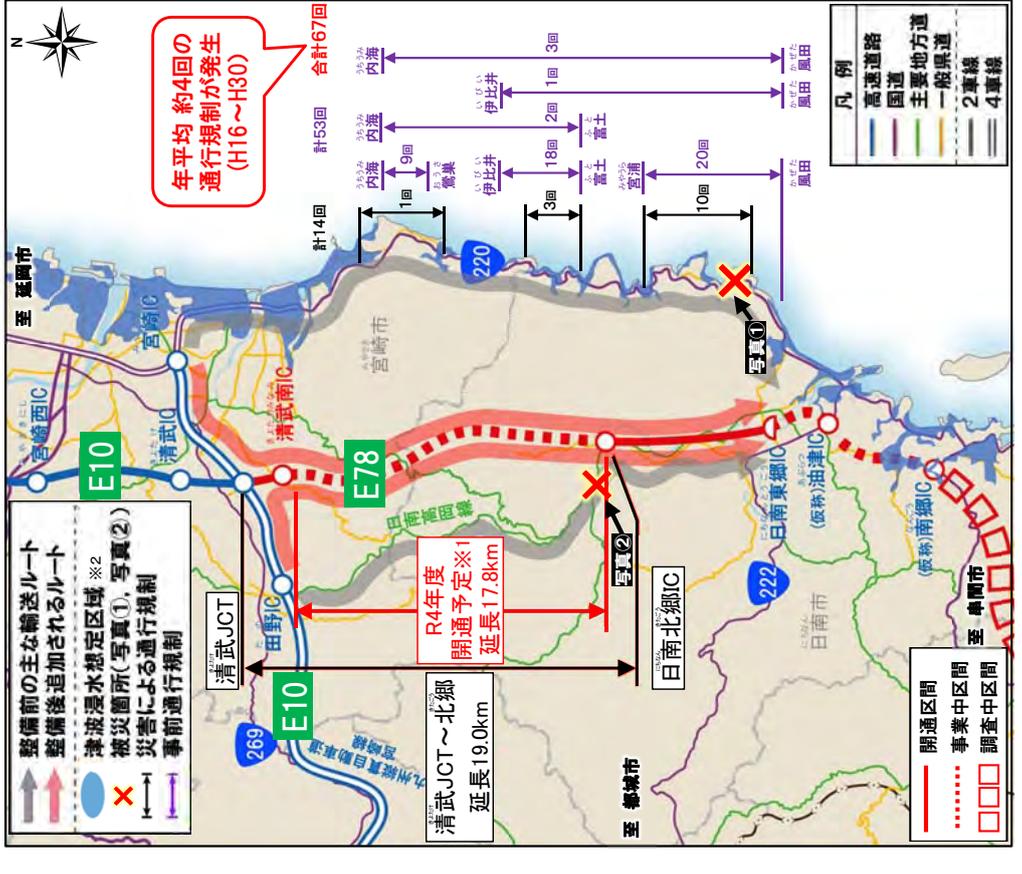
▼ (主) 日南高岡線の規制発生状況

規制理由	規制回数	備考
災害による通行規制 (全面通行止め)	14回	崩土、落石等

※通行規制はH16～H30年度の15年間の実績 (資料：宮崎県)

《路線位置図》

▼ 災害時における輸送ルート



※1 引き続き、芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策が順調に進捗した場合
 ※2 宮崎県「津波浸水想定」の設定について(資料：宮崎県(H25.2.19))



■ 都城道路(Ⅱ期)・都城道路は、宮崎県都城市と鹿児島県志布志市に至る地域高規格道路「都城志布志道路」の一部を構成し、地域の産業活性化等に寄与する道路。

■ 九州縦貫自動車道宮崎線「都城IC」と国際バルク戦略港湾「志布志港」を結ぶ広域ネットワークを形成し所要時間が短縮することで、物流の効率化や地域経済の活性化などが期待。

《位置図》



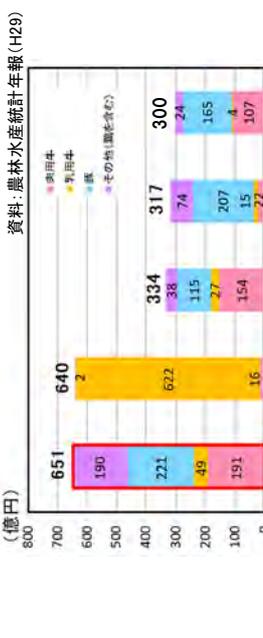
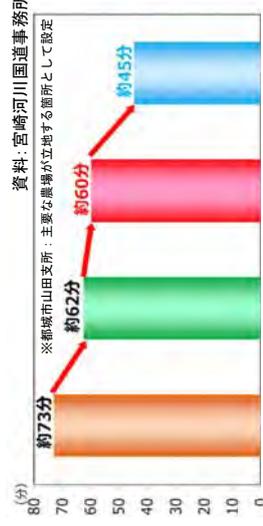
《諸元等》

【都城道路(Ⅱ期)】
 事業区間：宮崎県都城市高木町～都城市乙房町
 延長：5.7km
 全体事業費：160億円
 R2当初：40.1億円

【都城道路】
 事業区間：宮崎県都城市乙房町～都城市五十町
 延長：7.7km
 全体事業費：404億円
 R2当初：18.0億円

《整備効果》

■ 所要時間の変化(志布志港～都城市山田支所間) (全国上位5位：H29市町村別)



未整備時 H30年3月末 (H11年) (都城志布志道路未整備時)

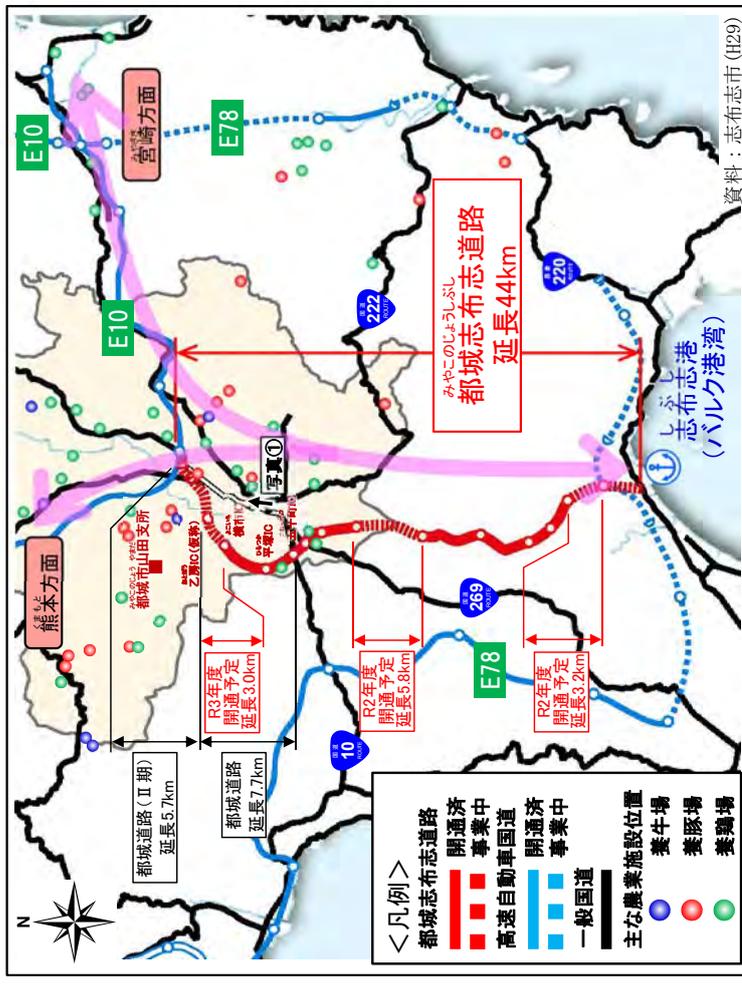
現況 (H31.3.17) (横市IC～平瀬IC開通時)

将来 (全線開通時)



都城駅前交差点付近の渋滞状況

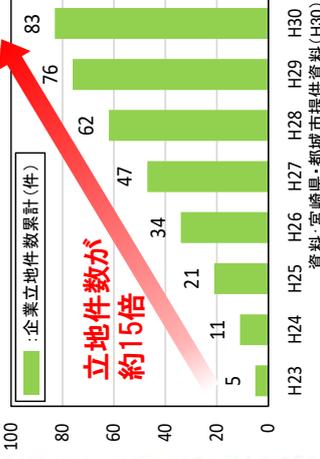
《路線位置図》



■ 都城IC付近の工業団地の立地状況



■ 都城市の企業立地件数



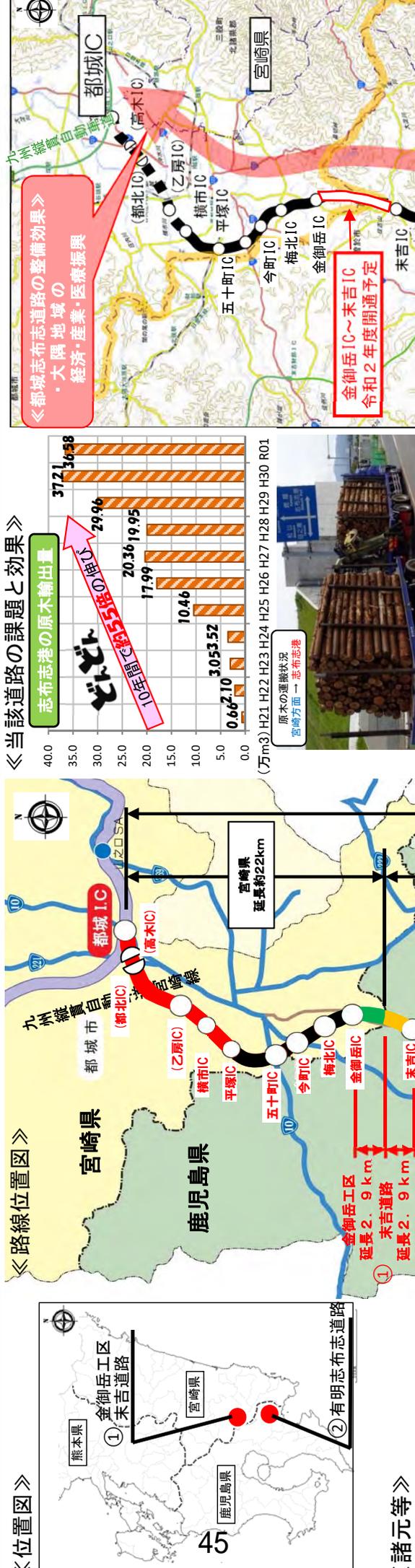
立地件数が約15倍

一般県道 飯野松山都城線 金御岳工区、末吉道路 主要県道 志布志福山線 有明志布志道路【補助】

全線開通 道路-16

本道路は、宮崎県都城市から鹿児島県志布志市に至る地域高規格道路「都城志布志道路」の一部を構成し、志布志港から都城方面へ至る大型車の交通渋滞緩和や交通安全の確保を目的とする道路。

本道路の整備により、都城ICや重要港湾志布志港へのアクセス性が向上することで、農畜産物の生産拡大や木材の輸出入促進、救急医療圏域の拡大等、輸送コストの縮減や安定供給等の生産性の向上が図られることにより大隅地域の経済・産業・医療の活性化を支援。



事業区間：
 ① 宮崎県都城市梅北町～鹿児島県曾於市末吉町
 ② 鹿児島県志布志市有明町～志布志町

延長：
 ① 金御岳工区2.9km、末吉道路2.9km
 ② 有明志布志道路3.6km

全体事業費：
 ① 金御岳工区78.0億円、末吉道路97.0億円
 ② 有明志布志道路93.0億円

R2当初：
 ① 金御岳工区10.8億円、末吉道路10.6億円
 ② 有明志布志道路2.6億円

《当該道路の課題と効果》

志布志港の原木輸出事業

区間	輸送量 (万m ³)
志布志港～志布志IC	3721.3
志布志IC～(仮)志布志IC	2996
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	2036
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	1995
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	1799
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	1046
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	3053.52
(仮)志布志IC～(仮)志布志IC	0.66210

原木の運搬状況
 宮崎方面 → 志布志港

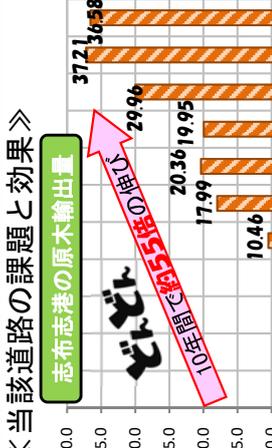
志布志IC(仮)付近

《都城志布志道路の整備効果》
 ・大型車の渋滞緩和や事故減少
 ・志布志港へのアクセス向上

《現道(志布志福山線)の交通状況》
 輸送量が狭い箇所では、大型トラックが渋滞している

【凡例】
 黒線 供用区間
 赤線 国交省整備区間
 緑線 宮崎県整備区間
 黄線 鹿児島県整備区間

《諸元等》



国道218号 高千穂日之影道路【直轄】

継続

道路-17

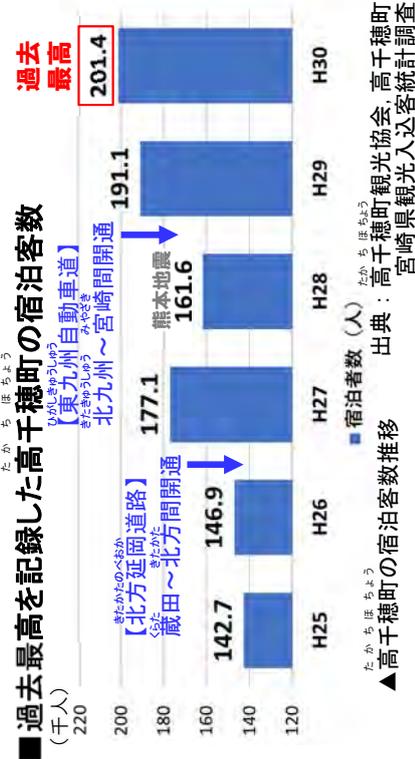
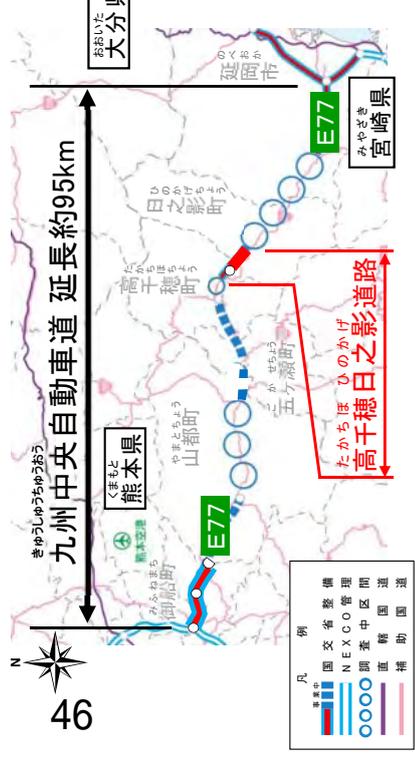
■高千穂日之影道路は、熊本県御船町から宮崎県延岡市に至る高規格幹線道路「九州横断自動車道延岡線」の一部を構成し、観光振興等に寄与する道路。

■高千穂日之影道路を整備することにより、豊富な観光資源を有する高千穂町へのアクセス性が向上し、高千穂町の受け入れ体制を強化することで、観光客数の増加による観光振興等が期待。

《位置図》



《諸元等》



- 無電柱化は、防災、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図ることを目的として事業を推進。
- 当該箇所は無電柱化を図ることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な通行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたたまづくりを支援する。

○国道10号 上川東地区電線共同溝

かみかわひがし

《位置図》



上川東地区電線共同溝

《諸元等》

事業区間：宮崎県都城市上川東2丁目
 ～宮崎県都城市平江町
みやくさき みやくさき かのこのじょう かみかわひがし
みやこのじょう ひらえちやう

整備延長：1.3 km (両側)

全体事業費：1.8億円

R2当初：0.8億円

○整備の必要性

○道路上の電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなる



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

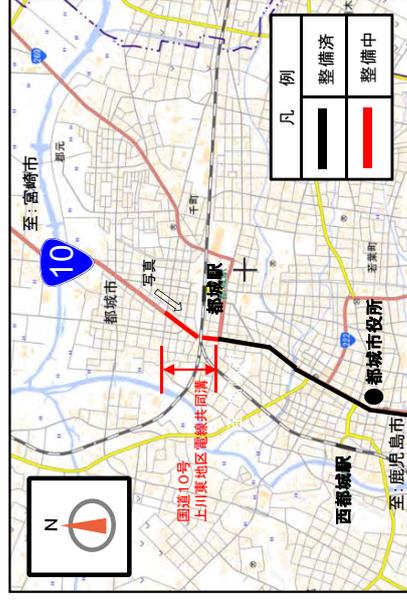


<飛来物による電柱倒壊の事例>



<歩行の支障となる電柱の事例>

《路線位置図》



《現地状況》

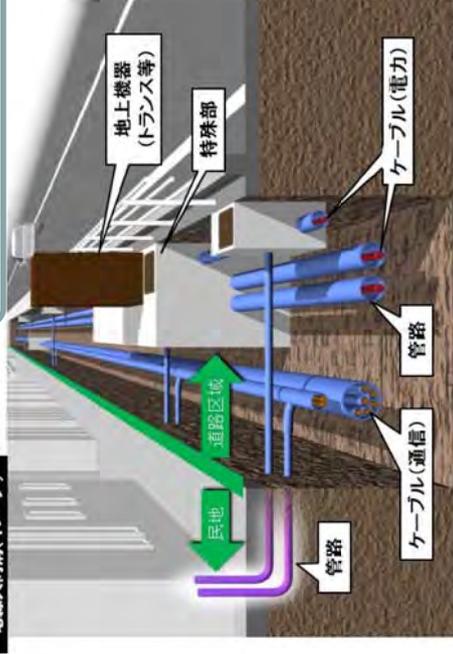


※工事着手前

○電線共同溝とは

道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収容

電線共同溝(イメージ)



東九州自動車道 志布志～末吉財部【直轄】

全線開通

道路-20

- 東九州自動車道 志布志～末吉財部は、九州の高速道路ネットワークの一部を形成することにより、大隅地域へのアクセス強化や、物流の効率化による地域産業活性化等に寄与する道路。
- 九州北部や鹿児島市方面と志布志港への所要時間短縮により、効率的な輸送が可能となり農林業の振興や企業立地の促進・雇用増加など、さらなる地域活性化に期待。

《位置図》

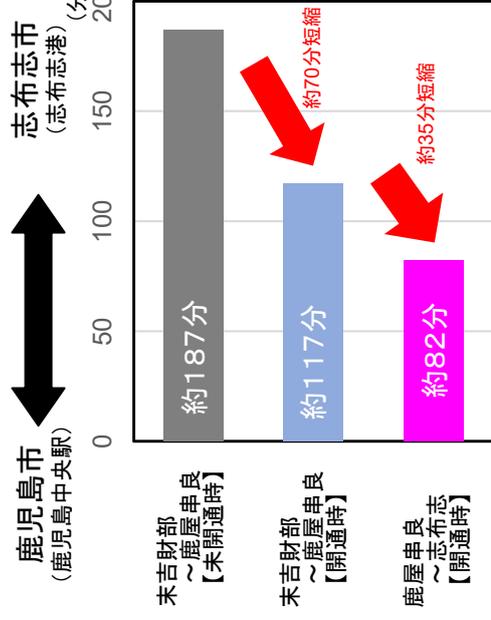


《諸元等》

事業区間：鹿児島県志布志市志布志町志布志
～鹿児島県曾於郡末吉町深川

延長：48.0 km
 全体事業費：1,676億円
 R2当初：108.3億円

《整備効果》



▲ 所要時間の変化

※ 所要時間算出時の速度は以下のとおり
 ・ 供用中の道路：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度
 ・ 東九州道事業区間：開通後に想定される規制速度

《路線位置図》

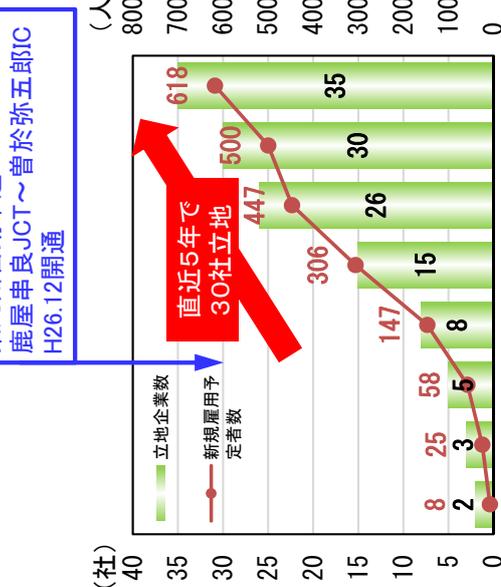


▲ 東九州道(志布志～末吉財部)沿線の企業立地

<立地協定企業>

- H26年度 (鹿屋串良～曾於弥五郎開通) 以前
- H27年度 (鹿屋串良～曾於弥五郎開通) 以降

《整備効果》



▲ 大隅地域の新規企業立地と新規雇用予定者数

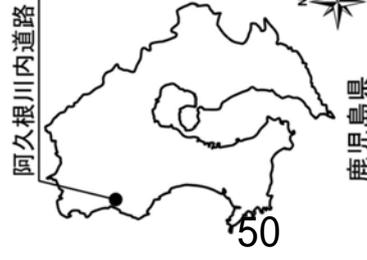
資料：鹿児島県HP立地協定

あ く ね せん だい

■阿久根川内道路は、熊本県八代市から鹿児島県鹿児島市に至る高規格幹線道路「南九州西回り自動車道」の一部を構成し九州南西部の地域経済活性化及び高速定時性の確保を目的とする道路。

■阿久根IC及び鹿児島市へのアクセス性が向上し、企業進出数の増加や医療アクセス負担の軽減などにより、更なる地域活性化と安心・安全の確保に期待。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：鹿児島県阿久根市鶴川内
～鹿児島県薩摩川内市水引町

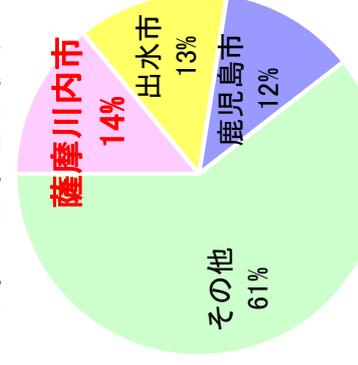
延長：22.4km

全体事業費：1,050億円

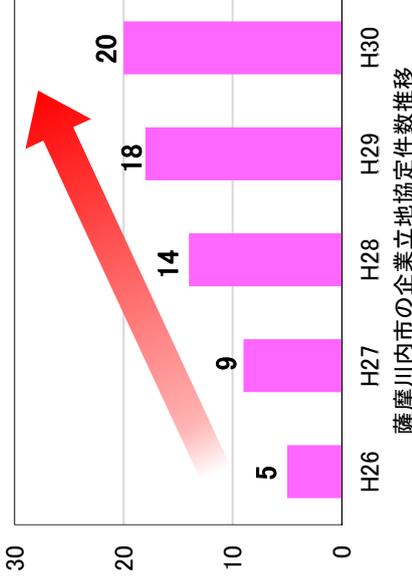
R2当初：14.8億円

《整備効果》

■薩摩川内市の企業進出状況



(件(延べ数))



鹿児島県の企業立地協定状況 (平成26～30年度) 資料:鹿児島県HP

■第3次救急医療施設60分圏域内の阿久根市の人口



国道504号 溝辺道路【補助】

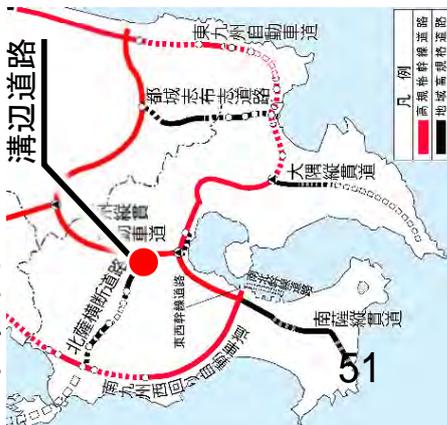
新規 道路-22

ほくさつ

■溝辺道路は、鹿児島空港と出水地域を結ぶ地域高規格道路「北薩横断道路」の一部を構成し、鹿児島空港から北薩方面へ至る国道504号の交通渋滞緩和や交通安全の確保を目的とする道路。

■溝辺道路の整備により、沿線の工業地域で生産される製品の輸送時間の短縮、定時性の向上が図られるとともに、優れた観光資源を有する北薩地域と空港とのアクセス性が向上することで、北薩地域の産業・観光振興を支援。

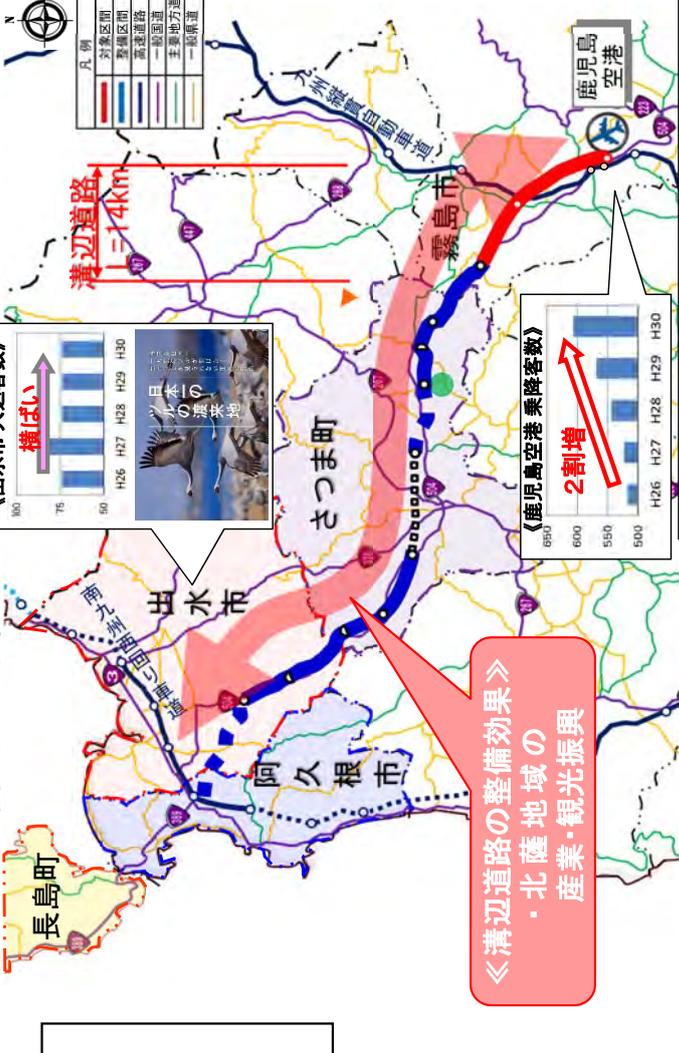
《位置図》



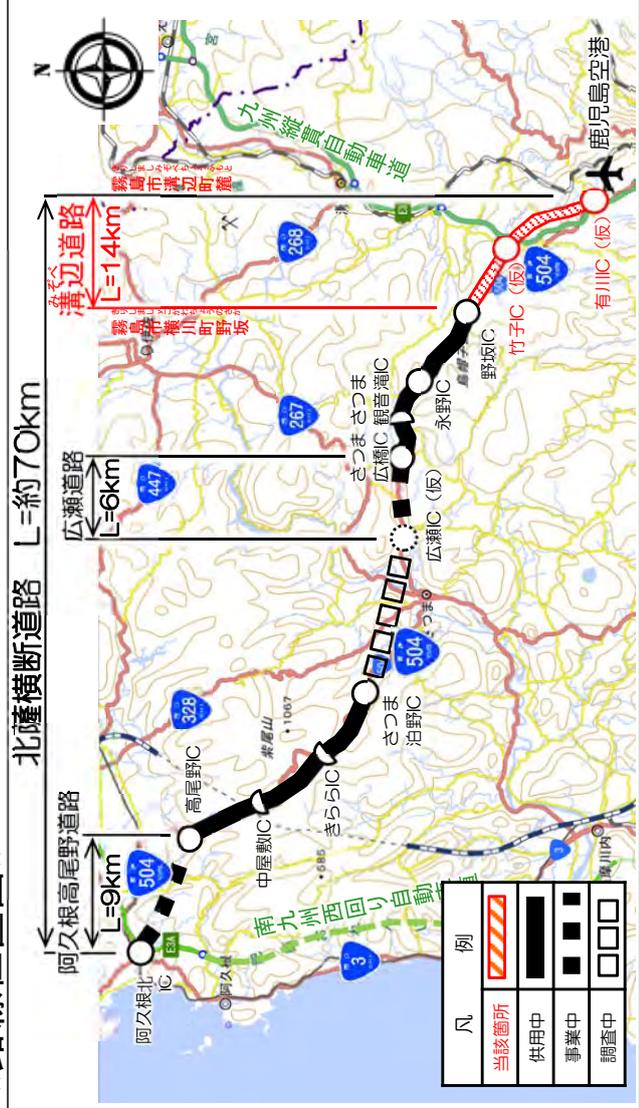
《諸元等》

事業区間：鹿児島県霧島市溝辺町麓
～霧島市横川町野坂
延長：14.0km
全体事業費：350億円
R2当初：0.4億円

《当該道路の課題と効果》



《路線位置図》



《現道（国道504号）竹子交差点の交通状況》

《溝辺道路の整備効果》

- ・渋滞緩和や事故減少
- ・定時性の向上
- ・観光地とのアクセス性向上

市道隈之城・高城線 修繕代行 天大橋【直轄】

継続

道路-23

てんたいばし くまのじょう たいばし

■天大橋（市道隈之城・高城線）は薩摩川内市内の南北を結ぶ重要な路線である。

■直轄診断の結果、高度な技術力を要する修繕が必要なことから、薩摩川内市からの要請に基づき、国が修繕代行により橋梁補修を実施。

《位置図》



天大橋

鹿児島県

《諸元等》

事業区間：鹿児島県薩摩川内市平佐町～
鹿児島県薩摩川内市東小路町

延長：329m
全体事業費：5.0億円
R2当初：1.5億円

《全景》



《損傷状況》

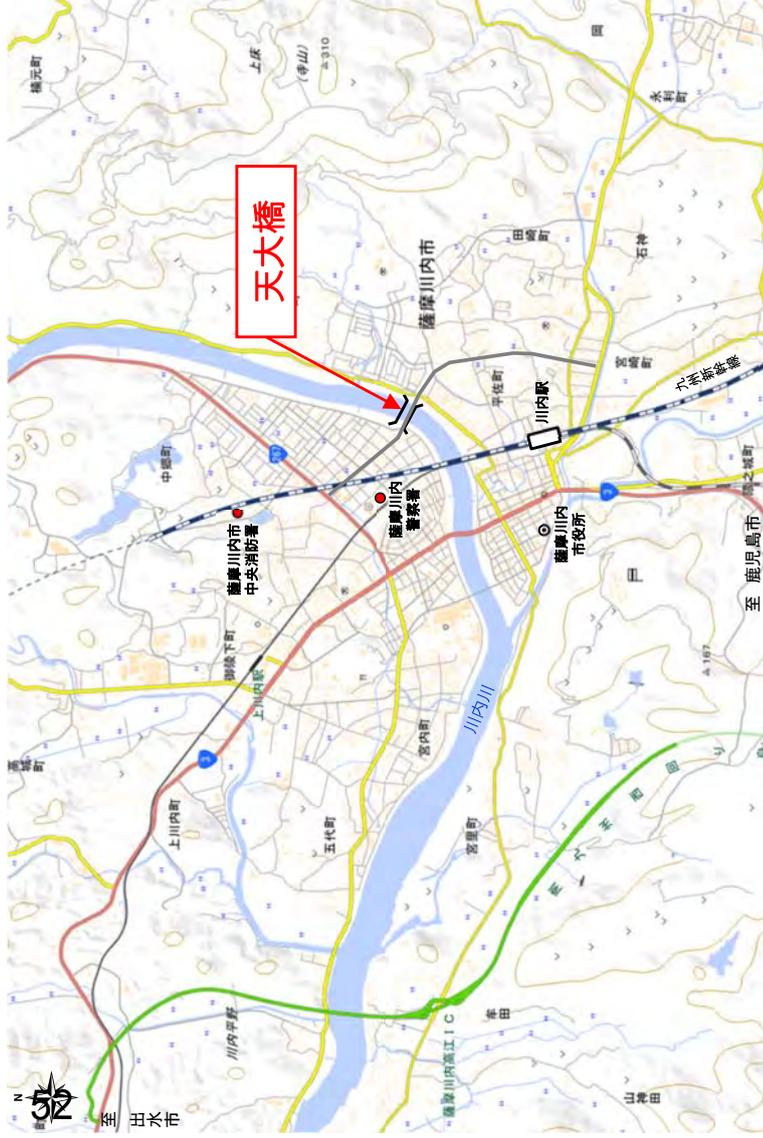


床版下面（中空床板橋）のひびわれ



橋脚のひび割れ・遊離石灰

《路線位置図》



下関北九州道路

新規 道路-24

- 下関北九州道路は、北九州市、下関市の都心部を結び、関門地域における既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル・関門橋の代替性の確保、さらには循環型ネットワーク形成による関門地域の一體的発展を目的として検討を進めていく道路。
- 令和2年度より、山口県及び福岡県と協力しつつ、概略ルート・構造等の検討（計画段階評価）に着手。

《位置図》

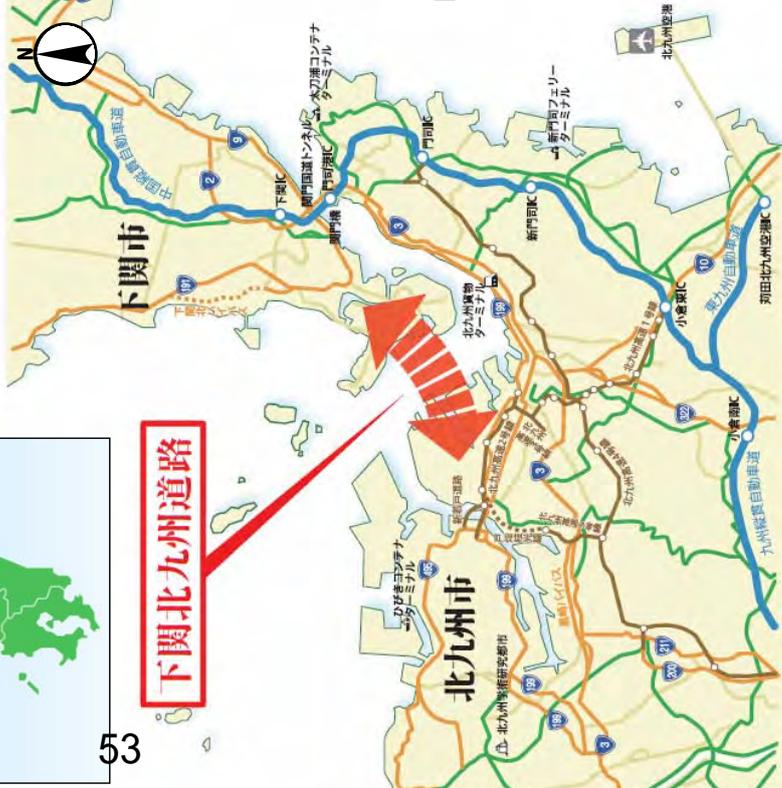


《当該区間の課題》

- 平成30年7月豪雨時には、本州と九州を渡る関門海峡に繋がる高速道路が最大4日間通行止めとなり、並行する国道等では大型車の交通量が最大約2.6倍に増加。渋滞により広域的な物資輸送に障害。



- 関門トンネルや関門橋が通行止めになると、周辺道路に渋滞が発生し、物流交通が阻害され、企業活動に影響。 ※総重量44t級の大型コンテナ車が関門海峡を越えるルートは関門橋のみ



日付	原因	備考
H30.2.11~12	積雪	上下線 約11時間通行止め
H29.2.11	積雪	上下線 約8時間通行止め
H28.1.24~25	積雪	上下線 約38時間半通行止め
H27.8.25	台風	上下線 約14時間通行止め
H26.2.8	積雪	上下線 約4時間半通行止め



関門トンネル内も渋滞が発生

【引用】 第1回下関北九州道路調査検討会(H29.5.30) 配布資料

▲ 関門橋の悪天候による通行止め状況(H25~H29年度)

▲ 関門橋通行止め時の渋滞状況(関門トンネル入口)

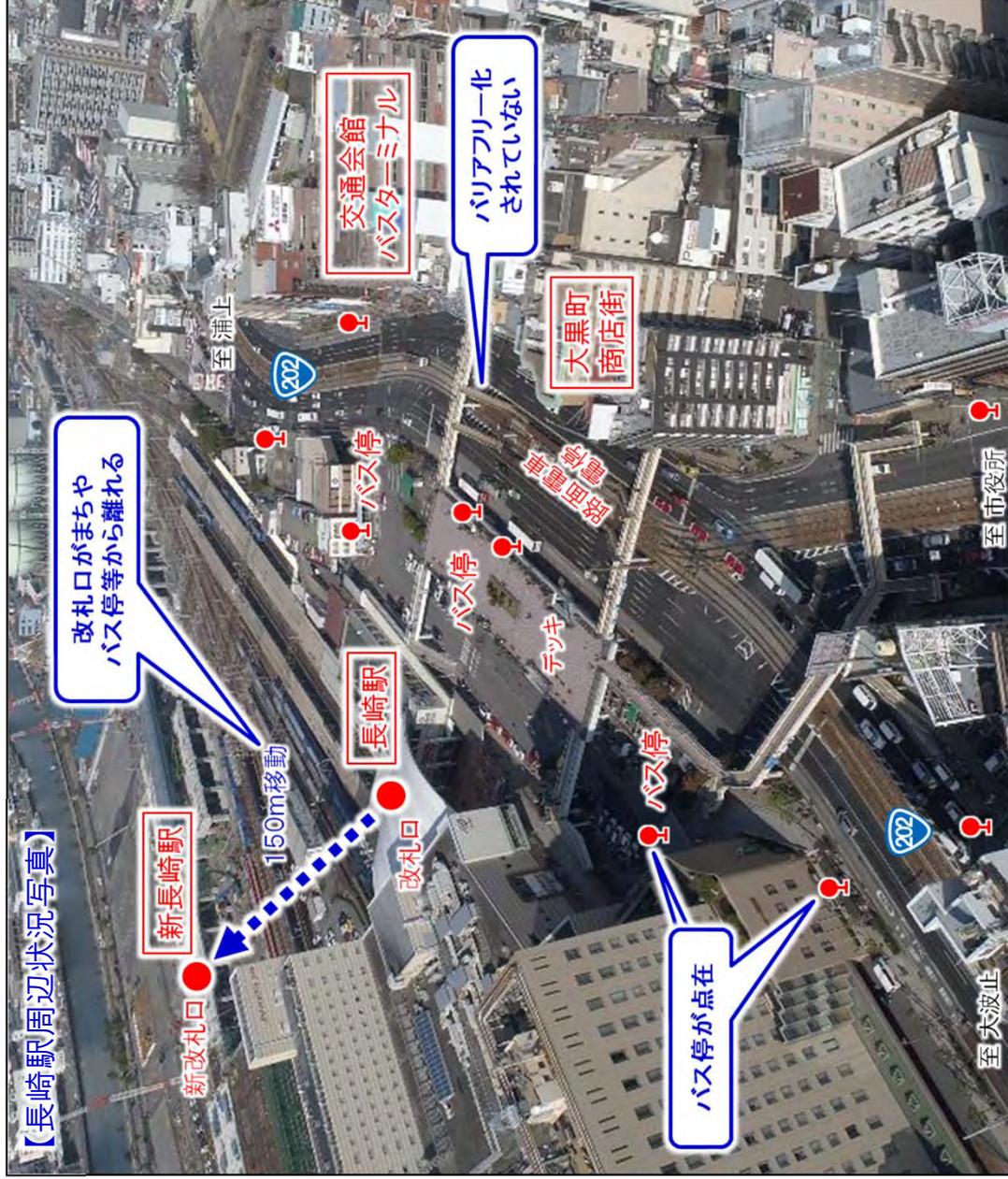
長崎市中心部の交通結節機能強化

- 長崎市中心部にあるJR長崎駅は、国際観光文化都市長崎の玄関口として多くの観光客等が利用し、その周辺には各観光地へ向かうための二次交通としての路線バスや路面電車が集中する主要な交通結節拠点。
- 長崎市中心部の各種交通モードの交通結節機能の強化を図ることによる観光客等の利便性の向上や良好なまちづくり等に期待。
- 令和2年度より、長崎県及び長崎市と連携を図りつつ、調査を実施。

《位置図》



【長崎駅周辺状況写真】



《当該箇所の課題》

- 新たなJR長崎駅からバス停・電停までの距離が遠くなりJRと二次交通の乗換が不便
- バス停が分散し、初めて訪れた観光客等にとつてわかりにくく乗り換えも不便
- 路面電車電停へのアクセスがバリアフリー化されていない
- まちとJR長崎駅の距離が遠くなり連携に支障等